

あなたがいたから、私は生まれた。
私がいたから、あなたは生まれた。

誰にでも、そんな大切な人がいるはずです。
自分より先に旅立ち、今はもうそばに居ない大切な人へのメッセージを託して、灯籠流しは行われます。
今年は、花火の打ち上らない静かな灯籠流しとなりました。より一層、大切なあの人への想いが、つものつたのではないのでしょうか。



吉野川 上市灯籠流し

台風の影響で今年の花火大会は中止となり、灯籠流しは8月4日に延期となりました。満点の星空の下、静かに灯籠流しが行われました。

会場となった桜橋下付近の河川敷で灯籠流しの準備が進められる中、夕方から金魚すくいが行われ、大勢の子どもたちが楽しんでいました。

太陽が山かげに隠れ、照りつける強い日差しから解放された頃から、上市・西方院副住職による孟蘭盆会供養が執り行われました。読経の音が聞こえる中、参加者は静かに手を合わせ、先祖供養、世界平和を祈りました。



「オール吉野産」

約50年前から続いているという上市灯籠流し。この灯籠流しは、上市商店会青年部の皆さんによって受け継がれ、開催されています。

6月下旬から行われる準備は、まず材料の手配と加工から始まり、灯籠の底板となる吉野産の杉板を指定の大きさに切断。その板の四

隅に穴をあけ、吉野杉の箸を4本立てます。そこへ、灯籠の大きさに合わせてカット・糊付けした吉野・国産で作られた和紙を上から入れて完成。材料の全てが吉野産の自然素材という、こだわりの灯籠です。

子どもたちの願いものせて

今年も約千基用意された灯籠の中には、カラフルで可愛らしい絵が描かれたものもありました。これは町内の各こども園・小学校・中学校、吉野高校の園児・児童・生徒たちが描いたものです。かき氷やカブトムシなど夏らしい絵の中に、世界平和への願いや将来の夢など、子どもたちの願いも書かれていました。

“灯籠流し”

盆に家々に迎えた先祖を送り帰す行事の一種。あるいは水死者や無縁仏に対する供養行事。初盆の家では飾り立てた精霊船を流し、初盆以外の家では棧依さんだわらにろうそくを立てたものを流したりした。一方、水死者や無縁仏の供養は盆に限ったものではなかったが、互いに影響しあうようになった。



出典 小学館『日本大百科全書(ニッポニカ)』

①金魚すくいに夢中になる子どもたち
②子どもたちが描いた色とりどりの灯籠





1



2

- ① 中学生も参加して約1,000基の灯籠のろうそくに一つ一つ火をつけていきます。
- ② 上市商店会青年部 部長 北村豊彦さん
- ③ 焼けるような暑さの河川敷で灯籠を組立てている部員の方々。

「部員一人一人がそれぞれの得意分野でがんばってくれている。」そう話すのは、主催者代表である上市商店会青年部の北村部長。忙しい仕事の合間をぬい、6月から準備をしてきた部員の方たちをねぎらいました。

当日も午前10時には河川敷に集まってテントや祭壇などの準備を行い、翌朝には流れずに川縁に滞っている灯籠の回収に、大淀町新野の新橋大橋付近まで見回りをすること。しかし近年、部員数の減少や、年齢も高くなっていくことから、部員の力だけで灯籠流しを続けていくのは難しい状況になってきているそうです。

続けたい！

夏休みに入る前に仕上げてもらっため、子どもたちの灯籠の手配に、7月初めには部員の方が各学校を回ります。



3

北村部長は「今年は花火大会が中止となり、灯籠流しも延期となったことからお手伝いくださるボランティアの方の人数も少なくなったが、関係各所のみなさんご協力により、今年も開催することができました。今後とも地元のみなさんの協力のもと、伝統ある上市灯籠流しを続けていきたい。」と話していました。

園役場 総合政策課 広報広聴室

TEL (32) 9090

「吉野 ふるさと元気夏祭り2018

花火大会」の中止について

7月28日に開催を予定しておりました「吉野 ふるさと元気夏祭り2018 花火大会」は、台風12号接近に伴う悪天候のため、安全性を考慮し、中止とさせていただきます。

花火大会を楽しみにして頂いていた皆さまには大変ご迷惑をおかけしたことを改めてお詫び申し上げます。また、花火大会の実施に向けて、ご協賛賜りました多数の企業、個人の方々につきましても、花火大会を中止致しましたことを、この書面をお借りしまして心からお詫び申し上げます。

皆様からいただきました協賛金(募金箱を含む)につきましては、来年度に繰越しさせていただきます。例年以上の花火大会となるよう取り組んで参る所存ですので、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

また、8月15日現在の花火大会予算の執行状況をお知らせいたします。(仮決算につき、最終の決算額と異なる場合がありますので、ご了承下さい。)

この「吉野 ふるさと元気夏祭り」花火大会が、吉野町の皆様にとって、「ふるさと」を思い、元気にしようという気持ちの一助となるよう、来年度の開催に向け、尽力いたしますので、今後とも皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

吉野花火大会実行委員会

会長 福田 富夫

吉野 ふるさと元気夏祭り2018 ～花火大会～ 予算執行状況(8月15日現在)

収入の部		支出の部		
前年度繰越金	1,441,867円	委託費	花火打上委託 キャンセル料金	1,900,000円
協賛金330件(協賛金箱への募金含む)	5,978,691円		会場設営委託 キャンセル料金	162,000円
吉野町負担金	1,000,000円	需用費	消耗品費、安全対策・警備用品費・印刷製本費・食糧費	507,895円
保険金(花火打上委託、会場設営委託、印刷製本費につき、興業中止保険を適用)	2,158,000円		役務費	保険料、手数料、郵送料
雑収入	6円	使用料	土地借上料	30,000円
合計	10,578,564円	合計		2,853,711円

(収入合計)10,578,564円 - (支出合計)2,853,711円 = (差引)7,724,853円

差引 7,724,853円を次年度に繰り越します。